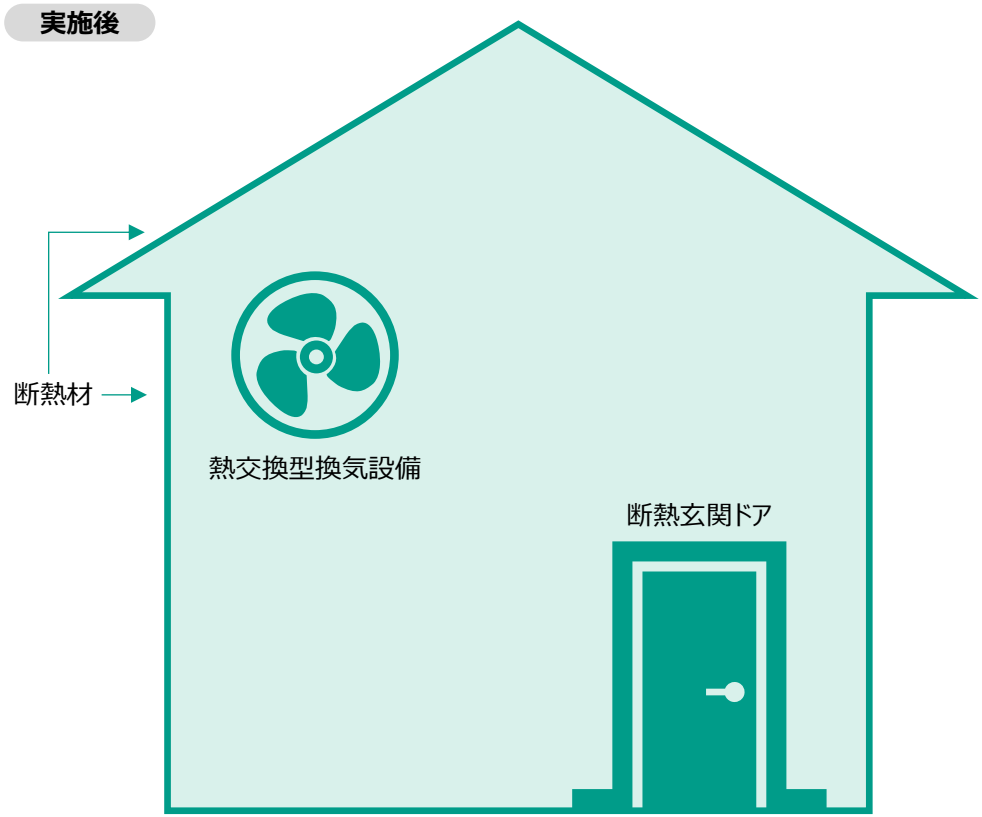
8.2 戸建住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等支援事業〈既存住宅の断熱リフォーム支援事業〉

②省エネと災害対策を両立できる快適な住宅環境作り

事業概要

事業者概要	事業者名	個人（施工会社：株式会社ユーホームズ）
	業種	個人
事業所	所在地	新潟県
	総延床面積	222m^2
補助金額	補助金額	約91.7万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	既存住宅（断熱材無し）
	導入設備	断熱材、断熱ドア、熱交換型換気設備
事業期間	稼働日	2024年1月
区分		更新
特長		断熱リフォームを実施し、断熱材、断熱ドア、熱交換型換気設備を導入したことで、入居者から電気・燃料代の大幅な削減が報告された。また、停電時でも電力・ガスハイブリッド給湯器を活用し、温水が使用できる安心感を実感されている。エネルギー効率の向上と非常時の備えを両立した、快適で持続可能な住環境の実現に貢献している。

システム図



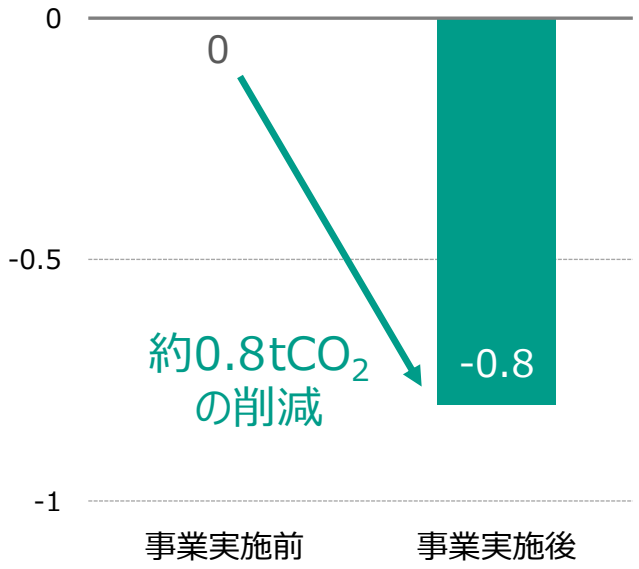
②省エネと災害対策を両立できる快適な住宅環境作り

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約4.4万円／年
投資回収年数	補助あり	－
	補助なし	－

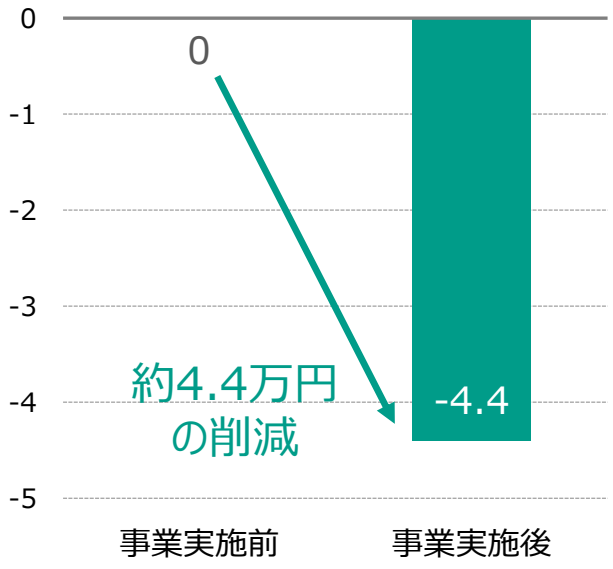
CO_2削減量	約0.8t-CO_2／年
CO_2削減コスト	57,500円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



断熱リフォームと断熱設備の導入により、導入前と比較すると、年間CO_2排出量が約0.8トン削減された。

エネルギーコスト（万円／年）



断熱リフォームと断熱設備の導入により、導入前と比較すると、エネルギーコストは年間約4.4万円削減された。

【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：24.9円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

②省エネと災害対策を両立できる快適な住宅環境作り

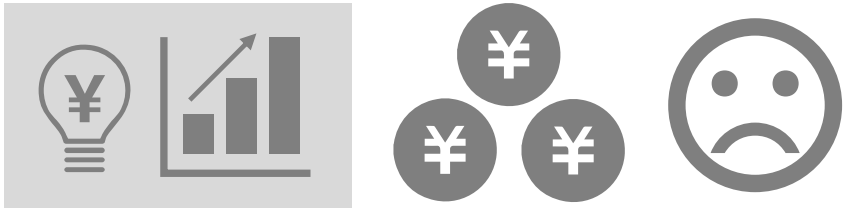
事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■「断熱材、断熱ドア、熱交換型換気設備の更新」によってCO_2削減以外に以下のような副次的効果があった

- 入居者から、電気代や燃料費が大幅に低減したとの報告が寄せられている。
  断熱性能の向上による冷暖房効率の改善が実現し、住民の経済的負担が軽減された。
- 電力とガスを併用するハイブリッド給湯器の導入により、停電時でも温水を確保できる点で利便性が向上した。
  停電が発生した場合でも生活の質を保つことができるため、入居者に安心感を与えている。

電力・燃料代の顕著な低減

実施前 電気・燃料代が高い



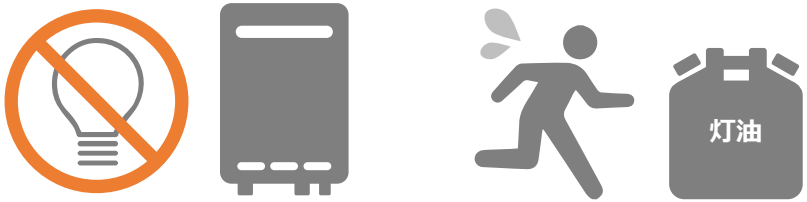
実施後 電気・燃料代が大幅低減



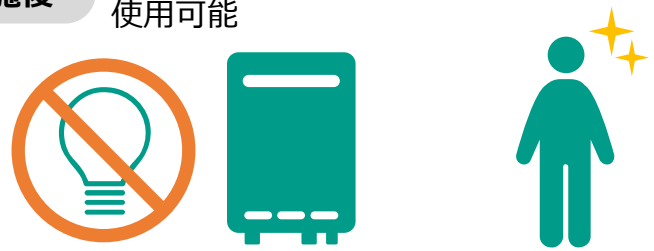
入居者より**電気・燃料代の顕著な低減**が報告されている。

停電時でも温水が使用可能

実施前 灯油ボイラーを使用するため、停電時に燃料調達が必要



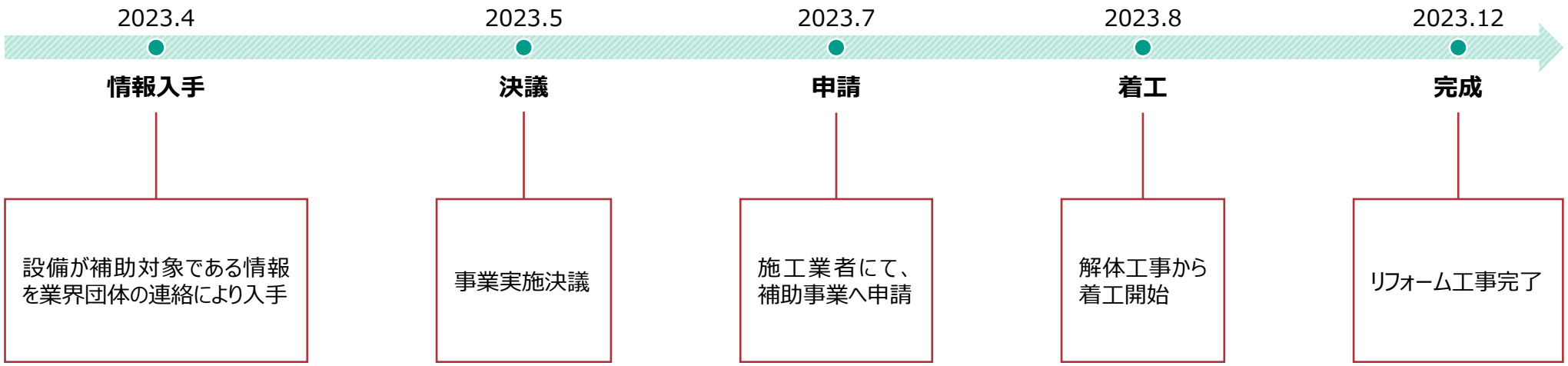
実施後 電力・ガスハイブリット給湯器を導入したため、停電時でも温水が使用可能



入居者より、停電発生時でも電力・ガスハイブリット給湯器により**温水が使用できるメリット**が報告されている。

②省エネと災害対策を両立できる快適な住宅環境作り

事業の経緯／今後の予定



事業者の声

滝沢　俊
株式会社ユーホームズ　工務課　設計

- 当社は「新築・建て替えだけでなく、愛着のある今の住まいを守ることも大切」という考えのもと、「快適計画」という名のリフォームブランドを立上げ、雪国の厳しい環境の中でより快適に、より安全に生活ができるよう家づくりを行っております。
- 今回は築40年の住宅リフォームを行いました。間取り変更と共に断熱改修を行ったことでUA値0.30（HEAT20 G2仕様）を確保することができ、さらに発電容量7.5kwのソーラーパネルを設置したことにより、リフォーム前と比べて光熱費を1/3に抑えることが出来ました。
- 近年、空き家が増加していることをみてもコストが抑えられ、性能を重視したリフォーム工事が今後、重要視されてくると考えております。